

平成 30 年度運営方針

ながの環境パートナーシップ会議 代表理事 金井 三平

ながの環境パートナーシップ会議（以下「P会議」という）は、「アジェンダ 21 ながの - 環境行動計画 - 2018」（以下「アジェンダ 21」という）に掲げる長野市の環境ビジョン『山にみどり・川に清流・谷に風・空に星 自然と和して発展するまち・人のくらし みんなの知恵と行動でつくる環境・未来・ながの』の実現に向けて行動します。

平成 30 年度は、アジェンダ 21 の策定に併せ、同計画に盛り込んだ「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ (SDGs)」※を念頭に置き、地域から地球規模につながる環境活動を推進していきます。

また、プロジェクトサポーター制度を更に推進するとともに、活動成果報告書やホームページ、SNS などの広報ツールを活用し、事業者を含む新規会員を確保することで、P 会議の活性化を図ります。

「つなぐ・伝える・行動する」活動は、市民・事業者・行政との協働を拡大させ、「**持続可能な P 会議**」とするために継続して取り組みます。

具体的な行動として

1 「アジェンダ 21」を推進します

第二次長野市環境基本計画後期計画の策定に伴い、見直しが行われ策定されたアジェンダ 21 に基づき、長野市域で環境問題に取り組む市民・事業者・団体・行政との更なる協働による環境活動を推進します。

平成 30 年度は、P 会議と各プロジェクトの連携強化による活動の充実（**行動する**）に併せ、その活動を広く発信（**伝える**）し、次世代につながる（**つなぐ**）成果の見える行動により、環境ビジョンの実現を目指します。

(1) P 会議とプロジェクトチームの連携強化と環境活動の充実を図ります（行動する）

「アジェンダ 21 ながの - 環境行動計画 - 2018」の趣旨に沿った活動に取り組む外部団体・事業者との共催や参加などを通じ、協働の拡大を図ります。

① 主催事業の開催

平成 29 年度は、主催事業の企画・運営を担うスペシャルプロジェクトチームを組織し、団体や事業者の環境活動を次世代の若者を中心とした市民の皆さんへ伝えるとともに、団体、事業者相互の交流・協働のきっかけとなることを目的に、「第 7 回ながの環境団体大集合」を開催しました。各種団体や事業

者、高等学校及び大学などの出展により、それぞれの環境活動について活発な意見交換や交流が行われました。

平成30年度の事業実施の際には、昨年度と同様に若者が参画するスペシャルプロジェクトチームを早期に組織し、団体・事業者・学校やプロジェクトチームなどの環境活動を「つなぐ・伝える・行動する」場として、各団体の活動の相互理解が推進され、更にはP会議の新規会員の勧誘につながるよう、充実した主催事業を展開します。

② 他団体との共催・参加・支援

各団体との共催や環境活動へ参加及び支援を通じて、若い世代や市民・事業者などにP会議の活動を広く発信し、協働による活動の参加を呼び掛けます。

(例) 信州環境フェア、長野市環境こどもサミット、ライトダウンキャンペーン、ゴミゼロ運動、アレチウリ駆除、山の日ウォーキング、信州大学地域環境演習など

③ 理事会とプロジェクトチームの連携強化

理事会とプロジェクトチームの連携を強化し、一体となって環境活動を進めていくため、合同会議を適宜開催いたします。理事会がプロジェクトチームの活動を把握し、助言及び支援することでプロジェクトチームの活動の充実を図るとともに、P会議の事業を協働で実施します。

(2) ながの環境パートナーシップ会議の活動を広く発信します(伝える)

P会議及びプロジェクトチームの活動状況と成果を活動成果報告書「手をむすんで」にまとめ、P会議の活動をより積極的にアピールします。また、ホームページなどに加えて、新たにSNSを活用し、市民・事業者・団体などに広く情報発信を行ない、環境意識の啓発に努めます。

(3) 次世代につながり成果の見える活動を行います(つなぐ)

目標である長野市の環境ビジョンの実現に向けた活動を強化するため、プロジェクトサポーター制度を更に推進し、団体や事業者との協働の拡大を図るとともに、世代をつないだ活動基盤を構築するため、特に次世代の若者との協働活動を進めます。

2 持続可能な環境パートナーシップ会議を目指します

(1) 自由な発想で楽しみながら取り組める環境活動の提案を積極的に受け入れ、P会議の新規プロジェクトとして立ち上げていくなど組織の拡充を図ります。

(2) 充実した環境活動を行っていくためには、市民・事業者・専門家・若者など、多様な知見・能力を有している方々の集積が必要です。会員・プロジェクトチーム・理事会が協力し、また、それぞれの立場で、仲間づくりを進めるとともに、

会員の増員を図ります。

(3) P会議の活動をより理解していただくとともに、協働による事業展開を推進していくため、新規会員や事業者を対象にした研修会等を開催します。

(4) アジェンダ 21 や運営方針に盛り込んだ「SDGs」を、より深く理解していただくため、会員向けの研修会を開催します。

(5) 充実した活動を実行するために活動資金の確保を検討します。

環境活動支援団体の助成金や企業等からの協賛金の活用を積極的に検討し、プロジェクトチーム単位での助成金申請を支援します。

※【 参 考 】

SDGsとは・・・

2015年(平成27年)9月、国連において、新たなアジェンダとして「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が全会一致で採択されました。これは、人類の発展や地球の繁栄のため2030年までに達成すべき行動計画として、宣言と目標を掲げたものです。

この目標が「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals 略してSDGs(エスディーゼーズ))」であり、これまでのアジェンダ21やミレニアム開発目標(MDGs)などの理念と成果を土台に、豊かさを追求しながら地球を守ることを呼びかける17の目標と169の行動計画で構成され、「誰一人取り残さない」という理念のもと、環境問題と経済発展を両軸に、先進国、発展途上国を含めた全ての国々に持続可能な世界に向けての変革を求めています。

